

八幡小地域版

市長と

まちかど

# タウンミーティング

テーマ：まちづくり



八幡市

YAWATA CITY

令和6年8月21日  
開催：山柴公民館



# 目次

- ・ **タウンミーティングとは？（開催の目的と概要）**
  - ・ **市長就任後の課題認識について**
  - ・ **解決策としてのこのまちの「まちづくり」**
  - ・ **その他、市政に関するお知らせやお伝え事項など**
  - ・ **まとめ**
  - ・ **意見交換**
- 

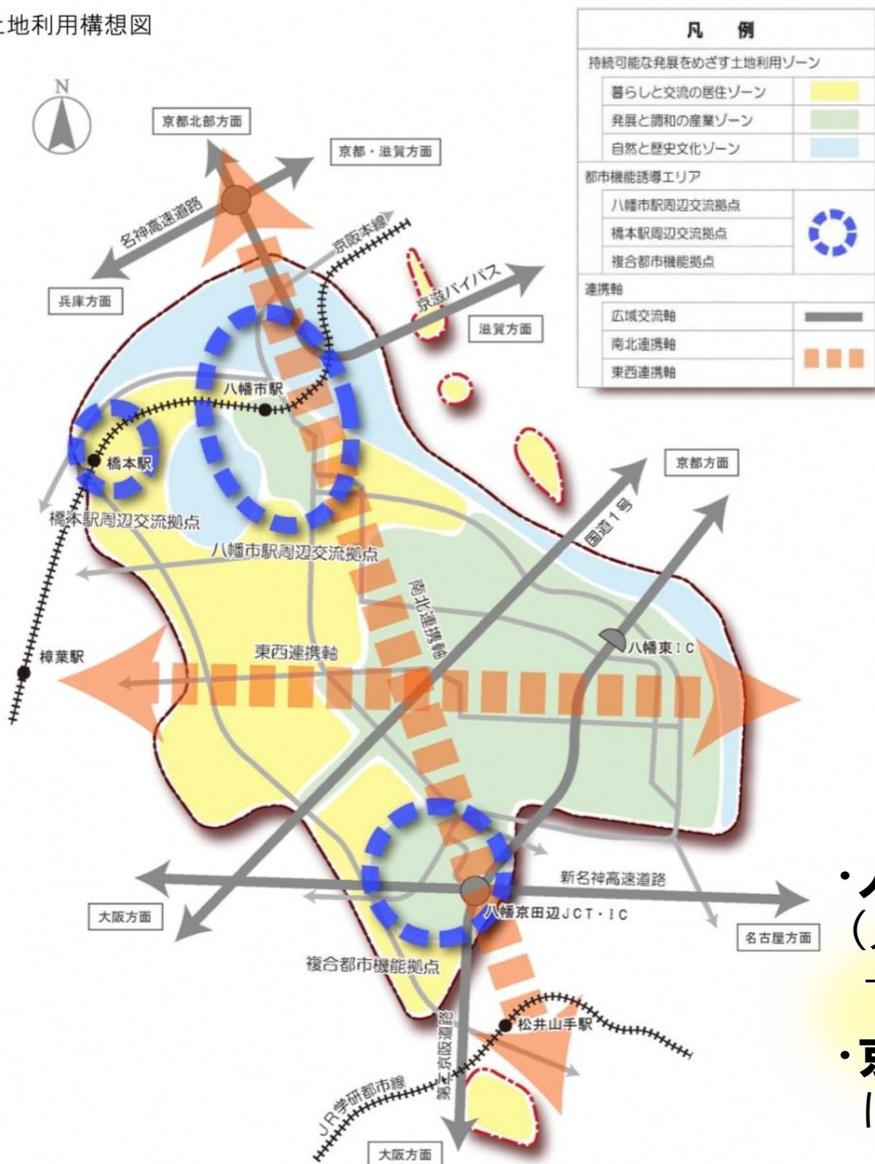
## タウンミーティングとは？（開催の目的と概要）

皆さまが日ごろ感じている、まちの利便性やさまざまな情報についてお伺いし、できる限り市政へ反映させたい

「まち」に関する様々な課題に対しての思いを共有し、市と市民の皆さんが同じ方向を向いて進んでいけるようにしたい

# 市長就任後の課題認識について

■ 土地利用構想図



● 面積 **24.35km<sup>2</sup>** のコンパクトな市域に

・**くらしのゾーン**  
(市街地、団地、新興住宅街など)

・**産業のゾーン**  
(農業地帯、工業地帯)

・**自然と歴史文化のゾーン**  
(石清水八幡宮、社寺仏閣、背割堤、三川合流)

…と、多彩なまちの要素が詰まっている

一方で

・**人口減少と急速な高齢化**  
(人口は平成7年の約76,000人をピークに減少  
→現在約68,900人)

・**京阪石清水八幡宮駅(旧:八幡市駅)は急行削減**  
により実質準急駅に。(人が訪れず、通過してしまう)

# 市長就任後の課題認識について

## ① 長期にわたり、止まらない人口減少

人口は平成7年の約76,000人がピーク→現在約68,900人

10万人都市を目指し、想定していた公共施設整備との乖離

## ② 全国平均以上の水準で進む高齢化

八幡市の高齢化率(65歳以上の方の割合)→32.0%

※全国平均：29.1%

公共交通整備の課題や社会保障費などの問題

- ## ③ 国宝石清水八幡宮などの素晴らしい歴史文化遺産や 背割堤の桜などの魅力を市内経済や訪問に繋げきれていない
- 八幡市を訪れる観光客1人あたり平均消費額：約290円

# 市長就任後の課題認識について

八幡がこれからも**住みよいまちで在りつづける**ためには、  
「まちづくり」への**不断の前進への努力が必須**

**現状維持は後退を意味する**

少子化＝人材不足の深刻化により、  
これまでの経済基盤を維持することがどんどん難しくなっている  
これからは「人・モノ・カネ」すべてが 地方自治体間でも**争奪戦**に  
まちづくりで取り残されたら、「まち」も置き去りにされる？  
(交通インフラ、人の流れ、お金の流れ が撤収されていく)

解決策としてのこのまちの「まちづくり」  
政策の「柱」

魅力と活力あふれるまち  
の実現

「住まう先」「訪れる先」「働く先」  
として、選ばれるまちで在り続けるために  
魅力を磨き続ける

子育て

健康

まちづくり

# 解決策としてのこのまちの「まちづくり」

## 「八幡市」の中での「八幡小校区地域」がもつ特徴と強み

国内でも稀有な「三川合流」が織りなす雄大な自然風景

- ・ 背割堤・淀川河川公園・男山展望台 等

国宝石清水八幡宮をはじめとする歴史的、文化的遺産とそれにつながるまち並み

- ・ 石清水八幡宮・神應寺・善法律寺・高良神社・相槌神社・放生川・安居橋
- ・ さざなみ公園・単伝庵(らくがき寺)・飛行神社・泰勝寺・本妙寺 等



# 解決策としてのこのまちの「まちづくり」

八幡に**滞在し、良い思い出**を感じていただけるような  
**「動線」と「しくみ」**を作る必要があると考えます

令和6年度当初予算にて、「石清水八幡宮駅前整備にかかる  
ビジョン策定業務」に着手

(昭和58年の駅前)



(現在の駅前)



# 解決策としてのこのまちの「まちづくり」

・役所だけでは、まちづくりは進みません

市民の「力」で盛り上がり、それに役所もどれだけ歩調を合わせ、  
協働していけるかがカギ

・今後、シンポジウムなどを予定していますので、ぜひご参加ください

